

今治市造船振興計画 概要版

■ 計画の概要

本計画は、前回改訂（平成 28 年 3 月）から 10 年を節目に令和 8 年 5 月に改訂したものです。令和 7 年 11 月の「日本成長戦略会議」において造船が重要 17 分野の一つに位置づけられ、同年 12 月策定の「造船業再生ロードマップ」など国の施策との整合を図りながら、今治市の造船産業の持続的発展を目指す方向性を示しています。

■ 基本方針 ～3つの基本方針と8つの方向性～

将来像の実現に向け、「今治海事都市発展ビジョン」を共通の羅針盤とし、「しごと・ひと・まち」の3つを基軸とした基本方針を掲げます。これら3本の柱は相互に関連しており、産業の高度化・人材確保・地域魅力向上を一体的に推進することで、持続可能な国際海事都市“IMABARI”を構築します。



■ 発行 ■
今治市 産業部 産業政策局 海事都市今治推進課
〒794-8511 愛媛県今治市別宮町一丁目4番地1
TEL (0898) 36-1606



今治海事都市発展ビジョン



今治市造船振興計画

【将来像】

しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”



令和8年5月

今治市

■ 造船振興計画の施策体制 ～3つの基本方針と8つの方向性～

本市が目指す将来像の実現に向け、3つの基本方針と8つの方向性を踏まえ、造船振興計画を定めました。

本計画の実施にあたっては、産官学が強固なパートナーシップの下で情報を共有し一体となって取り組むとともに、海事産業を取り巻く社会情勢の変化に応じて適宜見直しを10年サイクルから短縮して行い、施策のアップデートを行う機動的な体制で推進します。

■ 造船振興計画

将来像
しごと・ひと・まちが
躍動する国際海事都市
「IMABARI」

■ 3つの基本方針

しごと
多様に富む海事産業への進化

ひと
多彩な人財の活躍支援

まち
多文化が共生する地域の魅力創出

■ 8つの方向性

① 海事産業の生産性と船舶生涯価値の向上
(スマート造船・保守・運航支援)

② 次世代船対応における協調領域拡大
(企業間の共同設計・標準化推進)

③ 新技術の受容を通じた海事エコシステムの
進化&拡大 (スタートアップ連携等)

④ 海事産業の魅力向上による潜在関心層の増加
(シティプライドの醸成)

⑤ 技術者・技能者の育成&獲得&循環
(高校→大学→センター→企業の連携)

⑥ 海外人財の獲得&定着
(多言語対応・生活基盤整備・受入環境の充実)

⑦ 海事産業と市民生活の接点強化
(産業観光・バリシップ・幼少期教育)

⑧ 産業・生活が融合したグローバル海事都市の
構築 (U・I・Jターン・多文化共生)

- ▶ 事務手続きの迅速化
- ▶ 長期的用地確保と投資支援
- ▶ 公有水面利用の円滑化
- ▶ DX化推進のためのインフラ整備
- ▶ 港湾インフラの計画的整備
- ▶ アクセスの改善

- ▶ 「協調領域」の創出
- ▶ 共同研究拠点「リサーチパーク」の実現
- ▶ 成功事例の共有・横連携

- ▶ 広域連携によるサプライチェーン強靱化・競争力強化
- ▶ デジタル格差の是正
- ▶ 外部研究機関との連携強化

▶ 海事産業の魅力創出と発信

- ▶ 既存機関の機能強化
- ▶ キャリアパスを意識した海事教育の体系化
- ▶ 工業高校との連携強化
- ▶ 愛媛大学との連携深化
- ▶ 業界横断的な研修システムの構築
- ▶ 海事人材、高度専門人材育成のための教育の実施

▶ 多文化共生の推進

- ▶ 海事都市「IMABARI」へのシティプライド醸成
- ▶ 産業観光と景観資源の活用推進

- ▶ 都市ブランド力の強化
- ▶ 複合的な産業振興と交流の拡大